

令和4年度社会福祉法人橘風会事業報告

I. 総括

1. 令和4年度の法人全体の収支は、新型コロナウイルスの影響を受け大幅に減少し前年度と比べ、収支差額が約980万円減少となり、厳しい結果となった。
ねむの丘においては、2度の施設内クラスターの発生や水道光熱費の高騰、器具備品等の故障による新規購入などがあったが、新型コロナウイルス関連の補助金収入があった為、収支差額は前年度対比93.5%、金額ベースで約60万円の減少となった。
在宅部門においては、ショートステイでは施設内クラスターやショートから特養への入所が頻繁にあり、利用人数が減少し介護報酬は減収となったが補助金収入で増収は確保した。しかしながら、人件費の上昇により収支差額は前年度対比72.2%、金額ベースで約130万円の減少となった。デイサービスではご利用者・職員の新型コロナウイルス感染による休業や新規利用者の確保に苦慮したことにより、収支差額は前年度に比べ約1,040万円もの減少となった。ケアプランセンターでは収入に関しては前年度とほぼ変わらなかったが経費削減が寄与し、収支差額は前年度に比べ約180万円の増加となった。ヘルパーステーションでは人員体制が整わず7月末にて休止申請を行った。
2. 本館空調設備の老朽化に伴い、故障が頻発していたが、空調設備の交換工事を行い、修繕費の抑制につなげた。
3. 渋川市内で事業を営み、その特色を活かしながら技術の改善向上、経営管理、雇用の推進等で顕著な事業所についてその功績を称える「優良事業所表彰」を受賞した。

II. 改正事項

1. 定款・規約・規程等の整備
 - 1) 定款
 - ① 変更点なし
 - 2) 規約
 - ① 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正
 - 3) 規程
 - ① 社会福祉法人橘風会 給与規定の一部改正
 - ② 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正
 - ③ 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
 - ④ 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正
 - ⑤ 社会福祉法人橘風会 指定短期入所介護事業運営規程の一部改正
 - ⑥ 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護運営規程の一部改正
 - ⑦ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正
 - ⑧ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業（通所型サービス）運営規程の一部改正
 - ⑨ 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程（第二

デイサービス虹の家)の一部改正

- ⑩ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正
- ⑪ 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正
- ⑫ 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問介護事業(訪問型サービス)運営規程の一部改正

Ⅲ. 組 織

1. 役 員 (令和5年3月末日現在)

理事長	内田 章 義				
理 事	鈴木 基 晴 (施設長)	都 丸 宣 彦	丸 橋 正 幸		
	木 村 榮 一	村 尾 隆 史	(就任順)		
監 事	今 井 兼 則	都 丸 正 隆	(就任順)		
評議員	萩 原 吉 行	高 橋 睦 男	小 川 志 道	林 俊 男	
	木 暮 秀 子	宇 都 宮 京 子	諸 田 了 子	(就任順)	

2. 職 員

(1) 橘風会 総数	136名	常 勤	69名 (男36名、女33名)	非常勤	67名 (男9名、女58名)
(2) 施設長	1名	常 勤	1名 (男1名)		
(3) 総務部	15名	常 勤	4名 (男3名、女1名)	非常勤	11名 (男5名、女6名)
部長	1名	常 勤	1名 (男1名)		
総務係	3名	常 勤	3名 (男2名、女1名)		
用務	2名	非常勤	2名 (男2名)		
管理当直	3名	非常勤	3名 (男3名)		
洗濯・清掃	6名	非常勤	6名 (男1名、女5名)		
(4) 施設支援部	70名	常 勤	47名 (男26名、女21名)	非常勤	23名 (男2名、女21名)
部長	1名	常 勤	1名 (男1名)		
生活支援係	2名	常 勤	2名 (うち、管理栄養士1名)		
介護支援専門員	1名	常 勤	1名 (男1名)		
第一介護係	29名	常 勤	18名 (男11名、女7名)	非常勤	11名 (男2名、女9名)
第二介護係	37名	常 勤	25名 (男12名、女13名)	非常勤	12名 (男0名、女12名)
(5) 医務課	14名	常 勤	6名 (看護師3名、准看護師3名)	非常勤	8名 (看護師1名、准看護師7名)
医務係	11名	常 勤	3名 (看護師1名、准看護師2名)	非常勤	8名 (看護師1名、准看護師7名)
機能訓練指導員	3名	常 勤	3名 (看護師2名、准看護師1名)		

(6) 在宅支援部	36名	常勤11名(男5名、女6名) 非常勤25名(男2名、女23名)
課長	1名	常勤1名(地域包括管理者1名)
通所介護事業所	27名	常勤4名(男2名、女2名) 非常勤23名(男1名、女22名)
運転手	1名	非常勤1名(男1名)
居宅介護支援事業所	5名	常勤4名(男1名、女3名) 非常勤1名(男0名、女1名)
地域包括支援センター	2名	常勤2名(男1名、女1名)

IV. 会議 1. 理事会

開催年月日	開催名	議題内容
令和4年 5月21日	第1回理事会	<p>議案第 1号 令和3年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録)の認定について [監査報告]</p> <p>議案第 2号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業所休止申請について</p> <p>議案第 3号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について 報告事項</p> <p>(1) 令和3年度社会福祉充実残額について (2) 業務執行状況の報告について (3) 令和4年度地域介護・福祉空間整備等施設整備交付金の補助要望書の提出について (4) 地域外国人材受入れ・定着モデル事業を活用した、特定技能実習生の受け入れについて</p>
令和4年 8月19日 (書面決議終結日)	第2回理事会	<p>議案第 4号 社会福祉法人橘風会 ユニット型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 5号 社会福祉法人橘風会 従来型指定介護老人福祉施設特別養護老人ホームねむの丘運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 6号 社会福祉法人橘風会 指定短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 7号 社会福祉法人橘風会 指定介護予防短期入所生活介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 8号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第 9号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程の一部改正について</p> <p>議案第10号 社会福祉法人橘風会 通所介護事業所指定通所介護事業運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について</p> <p>議案第11号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号通所事業(通所型サービス)運営規程(第二デイサービスセンター虹の家)の一部改正について</p> <p>議案第12号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業運営規程の一部改正について</p> <p>議案第13号 社会福祉法人橘風会 介護予防・日常生活支援総合事業における指定第1号訪問事業(訪問型サービス)運営規程の一部改正について</p>

令和5年 3月11日	第3回理事会	議案第14号 令和4年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第15号 令和5年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について 議案第16号 社会福祉法人橘風会 就業規則の一部改正について 議案第17号 社会福祉法人橘風会 給与規程の一部改正について 議案第18号 社会福祉法人橘風会 再雇用職員の就業に関する規程の一部改正について 議案第19号 社会福祉法人橘風会 評議員会の開催について 報告事項 (1) 令和4年度群馬県地域介護・福祉空間整備等施設整備事業補助金(補助電源設備)に関する予算繰越し申請について (2) 令和4年度群馬県地域医療介護総合事業確保基金事業費補助金交付決定について (3) 業務執行状況の報告について (4) 令和4年度渋川市優良事業所表彰受賞について
------------	--------	--

2. 監査会

開催年月日	事業内容
令和4年 5月 9日	令和4年度 監査会(令和3年度決算監事監査)
令和4年11月28日	令和4年度 上半期会計監査会

3. 評議員会

開催年月日	開催名	議題内容
令和4年 6月11日	第1回評議員会	議案第 1号 令和3年度社会福祉法人橘風会事業報告並びに資金収支決算(資金収支計算書、事業活動収支計算書、貸借対照表、財産目録)の認定について [監査報告] 議案第 2号 社会福祉法人橘風会 指定訪問介護事業所休止申請について
令和5年 3月25日	第2回評議員会	議案第 3号 令和4年度社会福祉法人橘風会第一次資金収支補正予算について 議案第 4号 令和5年度社会福祉法人橘風会事業計画並びに資金収支予算について

4. 評議員選任・解任委員会

開催年月日	開催名	議題内容
開催なし		

5. その他

開催年月日	事業内容
令和4年5月9日	苦情解決報告会
令和4年5月(書面)	第1回家族会総会(書面決議) 職員で苗の植え付け
令和4年9月19日	第2回家族会 コロナ感染防止の為、家族招かず施設内でどらやき作り
令和5年3月25日	第1回入所判定委員会の開催

V. 事業（目標）結果

1. 総務部

<目標>

- 日本人労働者の減少を見据えた特定技能実習生の雇用を行い、日本での就労及び生活が円滑に行えるよう教育・訓練を実施します。
- 災害時に運用を行う業務継続計画（BCP）の策定が完了し、計画書をもとに定期的な防災訓練を実施します。
- ICT化を促進し、業務効率の向上を行います。

<結果>

- 厚生労働省及び渋川市が行う外国人介護人材確保事業を活用し、特定技能実習生2名を採用し、教育・訓練を実施した結果、夜勤を1名で担えるまでになった。
- BCPに基づき防災訓練を実施し、ライフラインを使用しない炊き出しや小型発電機の使用訓練を行った。
- 介護ロボット補助金を使用した見守りセンサーを導入し、職員の業務負担軽減に努めた。

法人共通研修

令和4年 4月 1日	諸規程・社会人としてのマナー・各処遇改善について
令和4年 6月 15日	食中毒とその予防について
令和4年 7月 20日	新型コロナウイルス発生時の濃厚接触者の選択
令和4年 8月 17日	リスクマネジメントについて
令和4年 9月 21日	高齢者の権利擁護、虐待防止について
令和4年 10月 19日	高齢者に多い感染症について
令和4年 12月 21日	高齢者の権利擁護、虐待防止について
令和5年 1月 18日	リスクマネジメントについて
令和5年 2月 15日	褥瘡予防とポジショニングについて

2. 施設支援部

ねむの丘基本方針

- 親孝行の視点でご利用者の心に寄り添うケアを提供します。
- 『ねむの丘ケア方針』に基づいた愛情あるケアを提供します。

各部署の目標

① 生活相談員

<目標>

ご利用者の意志を確認し尊重できるよう、ご家族及び多職種で協働することで人生を彩る支援を提供します。

- 医療及びケアについて、ご利用者の意志を尊重した支援が実現できるようにご家族も含めて多職種連携が図れる。
- 季節感のあるイベントや地域に根差した行事に関連したイベントを企画し、実施することで、ご利用者にとって日々の生活の楽しみに繋げていく。
- 日常の様子やイベントでの様子をご家族の来所時やブログ等を通して発信して、ご利用者の日々の様子を知っていただく。

<結果>

- ご利用者の状態変化や終末期の兆候について、早期に察知し多職種と情報共有を行うことで、タイムリーかつ早い段階で家族を交えてのカンファレンスに繋げることができた。
- コロナ禍により行事にも制限があったが、施設内で行えるものとして地域性や四季折々に関連した行事を企画実施し、日々の楽しみを提供できた。
- ご利用者の様子について、面会時にお伝えしたり、ブログへ写真を掲載する等して発信することで日々の生活の様子をご家族と共有することができた。

② 介護支援専門員

<目標>

「人が生きること」を総合的に把握しあるべき生活をサービス計画書にまとめ、統一した個別ケアを提供します。

- 介護支援専門員、看護、介護主任、機能訓練指導員、栄養士、相談員等が I C F を理解することが出来る。
- 各種加算算定に対応できるようにアセスメント様式を見直し業務効率化を図る。

<結果>

- I C F についての研修を全職員対象に開催し I C F についての基本的な理解の周知は行えたが職員全員への周知には至っていない。
- アセスメント様式を修正し介護ソフトを活用することができ、アセスメントからプランの立案までスムーズに行えるようになった。

③ 管理栄養士

<目標>

多職種連携により、個々の身体機能や嗜好に応じた食事を、真心をこめて提供することで、食の楽しみや喜びを感じていただけるよう支援します。

- 栄養状態や咀嚼嚥下機能の変化に気付き、予防や改善のための支援ができる。
- 生活の楽しみとなるような食事の提供や季節を通した行事が実施できる。
- より良いものにするために、課題を共有し、改善できる。

<結果>

- 日々の摂食状況の把握に努め、多職種で連携し嚥下機能や栄養状態に合わせて提供する食事を検討することができた。
- 施設行事や季節を感じられるようなメニューを献立に取り入れることができた。
- 給食業者と課題を共有し、改善に向けて連携を図ることができた。

④ 介護係

第一係橋組

<目標>

ケアプランの重要性を理解し、ご利用者の思い・願いを知り統一したケアを提供します。

- 日々の援助の中でその人に合ったケアや要望の確認に努めケアを提供できる。
- ケアプランの内容を可視化、申し送りで内容を周知し統一したケアができる。

<結果>

- ケアや要望を確認し活かすことでご利用者の笑顔に繋がった。
- ICFの視点でのケアプランは達成できなかったが、ご利用者のニーズを吸い上げてケアプランに反映することができ統一したケアに繋がった。

第一係風組

<目標>

個別のご利用者が笑顔になれる事柄を共有し意図的に関わる事で自己肯定感が高まる援助をチームで提供します。

- コミュニケーション情報シートを活用することでご利用者が自己肯定感を感じられる関りができる。
- ご利用者一人ひとりの心に寄り添ったケアとなるために、接遇や認知症ケアについて理解を深めることができる。

<結果>

- コミュニケーション情報シート作成までは至らなかったが、その中で知り得た情報をもとに、ご利用者の望みに沿った行事やレクリエーションを実施することができた。
- 認知症のご利用者の立場に立って考え心情を理解する大切さを申し送りや会議で共有し、個別の対応策を講じることで安心感を与える支援につなげることができた。

第二係花組

<目標>

ご利用者が居心地がよいと感じられる環境で安心して過ごせ、思いや希望を知り望むケアを提供します。

- フロアに季節の壁飾りを掲示することで心地が良いと感じて頂ける環境を提供できる。
- ご利用者の生活歴や、やりたいことをご本人やご家族から情報収集しご本人の望みを提供することができる。

<結果>

- ご利用者同士が交流しながら楽しんで壁飾りを作成することができた。作品を掲示することでフロアの雰囲気をもくすることができた。
- 日々の関りを通して聞かれた要望をご家族と協力し、叶えることで喜んで頂けた。

第二係月組

<目標>

ご利用者の願いを確認しご家族と共に実現することで楽しみと喜びのある日々を提供します。

- ご利用者の願いや想いを汲み取り、日々の生活の中で実現できる。
- レクリエーションやイベントを通じてご利用者の笑顔を引き出す。

<結果>

- コミュニケーションやフェイスシートを通してご利用者の願いを知り、日々のケアに反映することができた。
- ご利用者の要望などを聞き取り、レクリエーションや行事に反映して実施することで、笑顔に繋げることができた。その際の様子を写真やブログに残し、ご家族に伝えることができた。

第二係宙組

<目標>

ご利用者の思いや願いを確認し真の想いを考え気持ちに寄り添った支援を提供します。

- ご利用者が穏やかに過ごせるように「心豊かな暮らしを支えるコミュニケーション情報シート」を、全ご利用者分を新たに更新し活用できる。
- ご利用者の意思を思考し、真の想いをケアプランに繋げ統一した支援が提供できる。

<結果>

- 個別の「心豊かな暮らしを支えるコミュニケーション情報シート」を作成し、日常の関りで活かすことで笑顔につながることができた。
- ご利用者がどのように暮らしていきたいのかという想いを思考し I C F の視点でケアプランを見直すことができた。

第二係星組

<目標>

ご利用者が笑顔で生活して頂く為に、笑顔になるポイントをまとめ、コミュニケーションを通して、自己肯定感を感じられる支援を個別に提供します。

- 笑顔になった会話を記録に残し、個別の笑顔ポイントをまとめ活用できる。
- 個別のご利用者の願いを確認し、レクリエーション等を行うことができる。

<結果>

- 笑顔になった会話を記録し、個別の笑顔ポイントをまとめ、日常の関りで活用することで笑顔に繋がる取り組みができた。
- 個別のご利用者が、生活の中で楽しみと思えるレクリエーションや行事を確認することはできたが、新型コロナ感染拡大に伴いすべてを実施することはできなかった。

第二係楓組

<目標>

ご利用者の意思を尊重し、想いを叶えることで幸福感に満たされた生活が送れるよう支援します。

- ご利用者の楽しみや役割を叶えられるような行事やレクリエーションを実施することができる。
- 日常の様子や行事、レクリエーションの様子を写真に撮り、思い出として振り返る事ができる。

<結果>

- ご利用者の希望に沿った行事やレクリエーションを実施することができた。
- 日頃の様子を写真に収め月ごとにまとめ、掲示することでご利用者と振り返りながら関わることができた。

第二係桜組

<目標>

ご利用者とご家族の「想い・願い」を知り関わることで、お互いが笑顔で過ごせるよう支援します。

- ご利用者やご家族と気兼ねなく話せる関係をつくり、お互いの「想い・願い」を知ることができる。
- ご利用者個々が何を大切にしているかを知り笑顔を引き出す関わりができる。
- ご利用者が安全に過ごし、楽しめる掲示物を飾ることができる。

<結果>

- 面会時にご家族と情報の共有を行うことで、ご利用者に対する想いや願いを知ることができた。
- 個々の想い願いをケアに取り入れることで、笑顔を引き出せる関わりができた。
- リビングや居室内に月ごとの行事や個々に合わせた掲示物を飾り、ご利用者と振り返ることができた。

⑤ 短期入所生活介護

<目標>

レクリエーションや生活リハビリを取り入れ、おもてなしの心で接することで、活動的で居心地の良い環境で過ごして頂けるよう支援します。

- ショートステイ利用中にご利用者が楽しめること・身体を動かし活動が向上する取り組みを実践する。
- ご利用者が居心地よく過ごせるように、接遇・言葉遣いについて理解を深め、相手の立場に立ったケアが実践できる。
- ご家族に、ご利用者の状態やリスク等について、情報共有を適宜行うことで信頼関係が築ける。

<結果>

- リハビリやレクリエーションを実施できるように業務改善を行いご利用者の楽しみに繋げることができた。
- 会議や申し送りの際に、言葉遣いについて職員で考える機会を持ち、相手の立場に立った言葉かけができるように促すことができた。
- 日ごろから入所退所時に、ご家族に施設での様子を伝え、情報共有が行うことができた。

医務課

基本方針

- 本人・家族の代弁者となり自己決定の支援を提供します。

⑥ 医務係

<目標>

ご利用者・ご家族の思いに寄り添い、全身状態に合わせた支援を多職種と連携し提供することで、満足した人生と感じられる支援を提供します。

- 全身状態の把握に必要な情報をまとめる方法を検討し活用することができる。

<結果>

- 個別の利用者の状態を多職種と連携し把握することで、ケアの見直しをタイムリーに行うことができ、状態に合わせたケアを提供することができた。

機能訓練

<目標>

ご利用者・ご家族の思いに寄り添い、心豊かな生活が送れるように生活機能を把握し機能訓練を行います。

- 多職種と連携し利用者・家族の真のニーズを知ることができる。
- ICFの理解を深め利用者の思いに添ったケアプランを立案し評価修正を行う。

<結果>

- 日常会話の言葉の背景にある思いを感じ取り多職種と情報を共有し、真のニーズを活用することができた。
- ICFを理解しニーズに従って、行動や機能維持ができるプランの作成及び評価修正ができた。

⑦ 各委員会

リスクマネジメント委員会

<目標>

リスクへの気づきをチームで共有し、統一したケアを行うことで事故を未然に防ぎ、ご利用者の安全な生活環境の整備に努めます。

- 危険予知訓練の実施や日常のリスクを記録に残し、チームで検証することでリスクへの気づきの意識を向上することができる。
- 事故発生時は検証結果を報告書にまとめ、共有することで類似した事故防止に努めることができる。
- 緊急時訓練を行うことで誰もが落ち着いた行動をとることができる。

<結果>

- 動画や記録を通してリスクへの気づきと対応策をチームで検討することで統一したケアと事故防止に繋げることができた。
- 事故発生後は速やかに事故内容の検証及び対応策を考えることで再発防止策を講じ類似した事故防止を行うことができた。
- 緊急時訓練を定期的に行うことで焦らずに行動できるよう、手順の確認を行うことができた。

資質向上委員会

<目標>

理念及び基本方針を共有し、質の向上や業務の改善を図り職員がやりがい・向上心を持って日々のケアを提供します。

- ケア方針研修の内容や目的を共有したうえで研修を実施し、知識・技術の向上ができる。

- 各所属で年間活動計画を定め、取り組むことで職員のやりがいにつなげる。
- ターミナルケア指針について周知ができ、指針に沿ったケアが提供できる。
- 業務改善を行い、職員の労働環境を整えることができる。

<結果>

- 研修前にねらいを共有し研修後の復命をしてもらうことで、知識・技術の向上につなげることができた。
- 各所属で年間活動計画を作成し、委員会で進捗状況を確認したが、年度後半に新型コロナウイルス蔓延などもあり、活動も停滞してしまい年度末の活動報告会も実施することができなかった。
- ターミナル指針の一部修正を行い、職員への周知は行えた。
- 各フロアの業務状況の課題を抽出し、委員会で改善策を議論することで業務を改善することができた。

食事改善・食中毒対策委員会

<目標>

摂食嚥下機能を分析することで、本人にとって最善の意思決定支援を行い、口から食べる楽しみと喜びの継続を支援します。

- 口腔衛生や食事の支援について理解を深め、多職種連携のもと安全に配慮した支援を実施して食べる楽しみと喜びに繋げることができる。
- 最期まで「口から食べたい」と望む気持ちを尊重、理解し、最善の関わりを実施できる。
- 食中毒や感染症予防について知識を深める。

<結果>

- 歯科衛生士、言語聴覚士の関りで知識や意識が高まり、安全に配慮した食事の支援ができた。
- 摂食嚥下機能を見定めるとともに、本人に合わせた食事内容を検討し、食事を楽しむ支援ができた。
- 施設内研修を実施し、食中毒や感染症予防についての知識を深め、実際のケア場面での留意点について周知をすることができた。

感染症対策委員会

<目標>

ご利用者が安全に過ごせるよう、平時及び発生時の感染症対策の徹底に努めます。

- 新型コロナウイルス感染症の発生時に備えた対策ができる。
- 高齢者に多い感染症や平常時の感染症対策について理解を深めることができる。

<結果>

- 新型コロナウイルス発生時を想定したマニュアルに応じたシミュレーションを実施できたが、実際に感染症が発生したことで、マニュアルを見直す必要性が認識された。
- 標準予防策について、研修や掲示、委員会からも伝えることはできたが、徹底には課題が残った。

排泄委員会

<目標>

適切な排泄物品を正しく使用する事で、快適で心地よい個別の排泄ケアを提供します。

- 尿量測定や排泄状況チェックシートを使用し、定期的に個別の排泄物品を見直すことで適切な物品を使用できる。
- 排泄ケアを二人対応する必要性を周知し清潔を保持できる。

<結果>

- 尿量測定を実施することで適切な交換タイミングで尿量に応じたパットを使用することができ、適切な排泄物品を使用することで使用量を削減することができた。
- 二人介助による陰部洗浄を実施することで清潔不潔の分業ができスキントラブルを予防することができた。

身体拘束委員会

<目標>

身体拘束への理解を深め、ご利用者の気持ちに寄り添った支援を提供します。

- 事例動画を参考として抑制や拘束について理解を深め、利用者本位の支援が提供できる。
- 研修を通して身体拘束の防止について理解を深め、日々のケアの改善ができる。

<結果>

- 身体拘束廃止に関する研修動画を施設内で共有し、抑制や拘束について理解を深めることで利用者本位の支援に繋げることができた。
- 法人共通研修を通して身体拘束に繋がらない関わり方について理解を深め、日々のケアの改善をすることができた。

虐待防止委員会

<目標>

虐待防止指針の理解を深め、ご利用者の尊厳保持と利用者本位の支援を提供します。

- 虐待の防止のための指針を再周知することで、利用者の尊厳を保持した支援が提供できる。
- 研修を通して不適切なケアについて理解を深め、日々のケアの改善に繋げることができる。

<結果>

- 「虐待の防止のための指針」について再周知をし、利用者の尊厳を保持した支援に繋げることができた。
- 施設内研修を通して虐待に繋がる可能性のある不適切なケアについて理解を深め、日々のケアの見直しを図ることで、利用者本位の支援が提供できた。

褥瘡委員会

<目標>

適切な物品管理と使用方法の評価を行うことで、褥瘡を予防するケアを提供します。

- 褥瘡対策に関するケア計画に基づき、多職種連携でケアを行うことで褥瘡の予防ができる。
- 適切な物品の管理と使用方法を周知することで、褥瘡の予防ができる。

<結果>

- 褥瘡対策に関するケア計画について多職種で検討し、実施、評価をすることで褥瘡の予防ができた。
- 物品管理及び清掃方法を統一することで、適切に使用することができ褥瘡を予防することができた。

広報委員会

<目標>

広報誌、ブログ、ホームページを通して、福祉関係者及び学生等にも当法人を知っていただけるよう、広い範囲での発信を行います。

- ふれあい便り年4回の発行、ブログを随時更新し施設での生活の様子をお伝えすることができる。
- 就職説明会（見学会）を実施し、法人の雰囲気を知ってもらい、人材確保に繋げる。

<結果>

- 定期的な広報誌の発行・ホームページの更新・ブログの掲載を実施し、ご利用者や職員の明るい雰囲気を紹介できた。
- 就職説明会（見学会）を2回実施し、法人の雰囲気を知ってもらい、人材確保につながった。

入退所状況

【従来型】

	1日現在 在者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	40人						
5月	40人	1人	死亡(病院)×1				
6月	39人			1人	介護5	94歳	在宅×1
7月	40人						
8月	40人	1人	看取り×1				
9月	39人	1人	看取り×1				
10月	38人			2人	介護4.5	79.5歳	在宅×2
11月	40人						
12月	40人	6人	看取り×3 死亡(施設)×1 死亡(病院)×2				
1月	34人	4人	看取り×1 長期入院×3	4人	介護4.2	91.2歳	在宅×3人 老健×1人
2月	34人			6人	介護4	90歳	在宅×3人 老健×1人 病院×2人
3月	40人	1人	看取り×1				
合計		14人	看取り×7 死亡(施設)×1 死亡(病院)×3 長期入院×3	13人	介護4.2	89歳	在宅×5人 老健×2人

※ 退所者：令和2年12名(看取り6名) 令和3年7名(看取り4名) 令和4年14名(看取り7名)

※ 入所者：令和2年11名(平均介護度4.2・年齢82歳) 令和3年7名(平均介護度4.2・年齢90歳) 令和4年13名(平均介護度4.2・年齢89歳)

【ユニット型】

	1日現在 在者数	退所者数	退所理由	新規入所者数	新規 平均介護度	新規平均年齢	備考
4月	59人	2人	死亡(病院)×2	1人	介護4	84歳	在宅×1
5月	58人	1人	長期入院×1	3人	介護4	83.3歳	在宅×3
6月	60人	3人	看取り×2 死亡(施設)×1	1人	介護4	97歳	在宅×1
7月	58人			2人	介護4	92.5歳	在宅×2
8月	60人	1人	長期入院×1	1人	介護4	86歳	在宅×1
9月	60人	1人	死亡(病院)×1				
10月	59人	1人	看取り×1	2人	介護3.5	81.5歳	在宅×1 老健×1
11月	60人	1人	長期入院×1	1人	介護4	84歳	有料ホーム×1
12月	60人	1人	看取り×1				
1月	59人			1人	介護4	96歳	在宅×1
2月	60人						
3月	60人	1人	看取り×1				
合計		12人	看取り×5 死亡(施設)×1 死亡(病院)×3 長期入院×3	12人	介護3.9	87歳	在宅×10 老健×1 有料ホーム×1

※ 退所者：令和2年18名(看取り17名) 令和3年19名(看取り10名) 令和4年12名(看取り5名)

※ 入所者：令和2年19名(平均介護度4.2・年齢90歳) 令和3年19名(平均介護度4.1・年齢88.1歳) 令和4年13名(平均介護度3.9・年齢87歳)

※ 新規入所者の26人中19名が在宅から入所となっている。

※ ショートからの入所者が増加。

○ 入所者の状況

【従来型】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	4.2	4.2	4.2	4.2	4.1	4.1	4.3	4.2	4.2	4.2	4.3	4.3	4.2
	女	4.3	4.3	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3
平均介護度		4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.5	4.5	4.3

※ 平均介護度：令和元年度 4.4、令和2年度 4.3、令和3年度 4.3、令和4年度 4.3。

【ユニット】

要介護度	性	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
平均介護度	男	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0	4.0	4.2	4.3	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1
	女	4.1	4.1	4.1	4.1	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.2	4.2	4.2	4.1
平均介護度		4.1	4.1	4.1	4.0	4.0	4.0	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1	4.1

※ 平均介護度：令和元年度 3.9、令和2年度 4.3、令和3年度 4.1、令和4年度 4.1。

○ 入院者の状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	延べ
既存入院者	21人	22人	24人	53人	88人	51人	18人	53人	100人	44人	0人	56人	44人/月	530人
ユニット入院者	133人	62人	65人	94人	93人	90人	38人	56人	98人	36人	7人	43人	68人/月	815人
入院者数	154人	84人	89人	147人	181人	141人	56人	109人	198人	80人	7人	99人	112人/月	1345人
一日平均	5.13人/日	2.71人/日	2.97人/日	4.74人/日	5.84人/日	4.70人/日	1.81人/日	3.63人/日	6.39人/日	2.58人/日	0.25人/日	3.19人/日	3.7人/日	
既存入所待ち空床	0人	10人	8人	0人	6人	39人	17人	17人	102人	203人	62人	23人	41人/月	487人
ユニット入所待ち空床	38人	66人	27人	10人	14人	1人	30人	9人	26人	25人	0人	45人	24人/月	291人
空床合計	192人	160人	124人	157人	201人	181人	103人	135人	326人	308人	69人	167人	177人/月	778人
一日平均	6.40人/日	5.16人/日	4.13人/日	5.06人/日	6.48人/日	6.03人/日	3.32人/日	4.50人/日	10.52人/日	9.94人/日	2.46人/日	5.39人/日	5.8人/日	

※ 一日平均入院者 3.0 人から 3.7 人と増加。

○ 稼働状況(ショートを含めた稼働率)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
既存稼働率	96.6%	93.7%	95.8%	97.7%	98.6%	95.3%	96.7%	94.1%	83.5%	87.3%	91.7%	94.4%	93.8%
ユニット稼働率	93.8%	94.8%	95.8%	96.3%	96.2%	96.6%	96.8%	96.4%	93.3%	97.5%	99.6%	95.3%	96.0%
平均稼働率	95.2%	94.3%	95.8%	97.0%	97.4%	96.0%	96.8%	95.3%	88.4%	92.4%	95.7%	94.9%	94.9%

※ 既存 12 月・ユニット 1 月に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、ショート入退所・新規入所の受入れを制限したため稼働率が低下した。ユニット型に関しては新型コロナウイルス感染に伴う入院がなく堅調に推移した。

○ ショート利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	34人	38人	38人	40人	36人	37人	37人	29人	23人	36人	37人	33人	471人
延べ日数	541人	566人	573人	666人	668人	635人	602人	563人	516人	646人	528人	594人	7098人
一日平均	18.0人	18.2人	19.1人	21.4人	21.5人	21.1人	19.4人	18.7人	16.6人	20.8人	18.8人	19.2人	19.4人

※ 新型コロナウイルスに伴う利用控え及び感染予防策としてショートフロア以外のショート利用を制限、年度当初ショート利用者から新型コロナウイルス感染者が発生、12月に既存棟で新型コロナウイルス感染拡大に伴い減少したが、年間平均 18.1 人から 19.4 人と増加した。

3. 在宅介護課

(1) デイサービスセンター虹の家

<目標>

機能維持、向上を目的とした機能訓練・認知症予防・余暇活動を通じて、ご利用者が楽しみながら笑顔で過ごせ、在宅での生活が継続できるよう支援します。

ご家族様へは介護負担が軽減できるよう可能な限りご希望にお応えし、関りあいの中で信頼関係を構築し、安心して送り出せるよう支援します。

科学的介護の理解と活用に向けた準備を進めていき、職員の資質及びサービスの向上に努めます。

<結果>

- ・ご家族様との密な連絡や相談により希望を聞き洩らさず可能な限り対応した事により良好な関係を構築、維持できたことに加え、新型コロナウイルスの蔓延により二度の休館対応を行ったものの、利用離れになる事無く継続してご利用頂けた。
- ・楽しみながら体を動かせるように歩行訓練の際にお題に沿ってクイズに答えながら、脳トレと機能訓練を組み合わせて同時に行う事、また、レクリエーションでは軽スポーツを取り入れる等新しい試みが好評を得られた結果となった。
- ・職員研修は座学形式から1ヶ月間の実戦形式へ変更。タイムリーに指導ができ、指導側、研修生側共に悩みながらも成長が見られた結果となった。
- ・科学的介護の理解を深める目的として研修に参加し、理解力を高められ職員間で共有が行えた。

(2) 第二デイサービスセンター虹の家

<目標>

・ご利用者の在宅生活継続を支援するため、個々に合った機能訓練の実施や余暇活動を通じて身体機能や意欲の維持・向上に努めます。

・科学的介護の理解と活用に向けた準備を進めていき、職員の資質及びサービスの向上に努めます。

<結果>

- ・感染症対策の見直し、新たな対策の導入を図りつつ、機能訓練の実施や余暇活動、行事の実施を行うことでご利用者、ご家族に安心してご利用頂くことができた。
- ・科学的介護の理解を深めるための外部研修への参加及び情報収集に努めたことで、導入に向けた準備を進めることができた。
- ・外部事業所との情報共有を密に図ることで信頼関係が構築でき、継続した新規利用の紹介や新たな事業所からの紹介へと繋げられる結果となった。

デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和四年度）

令和三年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	14	13	10	9	6	9	61	8	8	6	8	11	17	58	119	10
要支援2	48	55	55	57	66	82	363	94	96	90	93	88	101	562	925	77
要支援延利用人員	62	68	65	66	59	63	383	102	104	96	101	99	118	620	1003	84
要支援一日平均	2.4	2.6	2.5	2.4	2.8	3.5	2.7	3.9	4.0	3.7	4.2	4.1	4.4	4.1	3.4	3.4
介護度1	281	261	278	294	303	330	1747	316	327	302	281	276	337	1839	3586	299
介護度2	147	154	149	143	138	140	871	123	122	90	57	78	96	566	1437	120
介護度3	110	92	86	101	76	87	552	54	63	84	70	62	66	399	951	79
介護度4	10	10	21	25	24	22	112	50	53	56	58	55	74	346	458	38
介護度5	8	14	15	14	14	16	81	17	29	21	10	0	0	77	158	13
要介護延利用人員	556	531	549	577	555	595	3363	560	594	553	476	471	573	3227	6590	549.2
要介護一日平均	21.4	20.4	21.1	21.4	21.3	22.9	21.4	21.5	22.8	21.3	19.8	19.6	21.2	21.1		21.26
延利用人員数	618	599	614	643	614	658	3,746	662	698	649	577	570	691	3,847	7,593	1,519
一日平均	23.8	23.0	23.6	23.8	23.6	25.3	23.9	25.5	26.8	25.0	24.0	23.8	25.6	25.1		24.5
令和四年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	21	27	26	152	26	25	23	24	24	27	149	301	25
要支援1	14	16	18	11	16	15	90	18	19	20	16	16	25	114	204	17
要支援2	96	84	73	59	52	57	421	56	59	34	33	34	44	260	681	57
要支援延利用人員	110	100	91	70	68	72	511	74	78	54	49	50	69	374	885	74
要支援一日平均	4.2	3.8	3.5	3.0	2.5	2.8	3.4	2.8	3.1	2.3	2.0	2.1	2.6	2.5	2.9	2.9
介護度1	299	305	340	249	245	256	1694	259	273	239	271	294	337	1673	3367	281
介護度2	122	149	156	134	186	179	926	148	137	117	98	109	130	739	1665	139
介護度3	63	60	62	34	26	22	267	44	42	40	40	27	20	213	480	40
介護度4	81	54	39	29	39	39	281	25	29	12	10	9	14	99	380	32
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	29	21	28	19	18	30	145	145	12
要介護延利用人員	565	568	597	446	496	496	3168	505	502	436	438	457	531	2869	6037	503.1
要介護一日平均	21.7	21.8	23.0	21.2	18.4	19.1	20.8	19.4	20.1	19.0	18.3	19.0	19.7	19.3		20.1
延利用人員数	675	668	688	516	564	568	3,679	579	580	490	487	507	600	3,243	6,922	1,384
一日平均	26.0	25.7	26.5	24.6	20.9	21.8	24.2	22.3	23.2	21.3	20.3	21.1	22.2	21.8		23.0

第二デイサービスセンター虹の家 利用状況報告（令和四年度）

令和三年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	27	26	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	8	8	10	8	8	10	52	8	8	12	14	15	11	68	120	10
要支援2	45	36	51	57	43	42	274	39	41	41	38	32	41	232	506	42
要支援延利用人	53	44	61	65	51	52	326	47	49	53	52	47	52	300	626	52
要支援一日平均	2.0	1.7	2.3	2.4	2.0	2.0	2.1	1.8	1.9	2.0	2.2	2.0	1.9	2.0	2.0	2.0
介護度1	127	122	116	135	130	139	769	166	166	168	185	177	210	1072	1841	153
介護度2	152	143	163	180	157	155	950	165	143	153	140	123	122	846	1796	150
介護度3	52	48	40	52	48	38	278	38	42	40	34	33	69	256	534	45
介護度4	43	52	51	54	52	59	311	63	69	62	64	60	54	372	683	57
介護度5	14	0	4	8	6	10	42	16	0	0	0	0	0	16	58	5
要介護延利用人	388	365	374	429	393	401	2350	448	420	423	423	393	455	2562	4912	409.3
要介護一日平均	14.9	14.0	14.4	15.9	15.1	15.4	15.0	17.2	16.2	16.3	17.6	16.4	16.9	16.7		15.8
延利用人員数	441	409	435	494	444	453	2,676	495	469	476	475	440	507	2,862	5,538	1,108
一日平均	17.0	15.7	16.7	18.3	17.1	17.4	17.0	19.0	18.0	18.3	19.8	18.3	18.8	18.7		17.9
令和四年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期	10月	11月	12月	1月	2月	3月	下期	累計	平均
開館日	26	26	26	26	27	26	157	26	26	26	24	24	27	153	310	26
要支援1	13	17	14	13	14	12	83	12	14	6	8	8	10	58	141	12
要支援2	33	34	43	38	44	37	229	44	40	39	35	39	48	245	474	40
要支援延利用人	46	51	57	51	58	49	312	56	54	45	43	47	58	303	615	51
要支援一日平均	1.8	2.0	2.2	2.0	2.1	1.9	2.0	2.2	2.1	1.7	1.8	2.0	2.1	2.0	2.0	2.0
介護度1	170	185	178	175	170	193	1071	190	185	155	156	182	197	1065	2136	178
介護度2	123	122	114	100	106	122	687	133	125	117	108	78	106	667	1354	113
介護度3	76	75	90	67	68	56	432	42	41	35	32	32	53	235	667	56
介護度4	49	45	24	13	13	13	157	13	13	13	11	12	18	80	237	20
介護度5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護延利用人	418	427	406	355	357	384	2347	378	364	320	307	304	374	2047	4394	366.2
要介護一日平均	16.1	16.4	15.6	13.7	13.2	14.8	14.9	14.5	14.0	12.3	12.8	12.7	13.9	13.4		14.2
延利用人員数	464	478	463	406	415	433	2,659	434	418	365	350	351	432	2,350	5,009	1,002
一日平均	17.8	18.4	17.8	15.6	15.4	16.7	16.9	16.7	16.1	14.0	14.6	14.6	16.0	15.4		16.2

(3) ケアプランセンターねむの丘

<目標>

迅速かつ丁寧な対応を心掛け、信頼のおけるケアマネとして日々努力を惜しまない。

<結果>

- ・ 新型コロナウイルス感染症の予防に努め、安全に事業を継続することができた
- ・ ご利用者の希望、心身の状況、生活環境、ご家族の支援状況等を把握するように努め、ご利用者一人ひとりが望む生活を実現できるように支援を行うことができた。
- ・ ご利用者、ご家族より相談を受けた際には迅速に対応を行うことで信頼関係を構築することができた。
- ・ ご利用者の入院や退院の時期にはなるべく病院にうかがうように務め、病院関係者と連携を行いご利用者、ご家族が安心して在宅生活を過ごせるように退院支援を行うことができた。

主な活動内容

- ① サービス計画書の作成
- ② 自宅訪問による相談
- ③ サービス担当者会議の開催
(介護保険証の更新時又はサービス内容の変更時)
- ④ モニタリング (評価)
- ⑤ 各居宅サービス事業所、行政機関、主治医 (医療機関) との連携
- ⑥ 各種申請の代行手続き
・ 介護保険要介護申請代行
- ⑦ 自己研鑽 (事業所内研修毎週 1 回、外部研修)
- ⑧ 他法人共同事例検討会の開催 (1 回開催)
- ⑨ 書類の整備

令和 4 年度	給付管理票提出数	1,540 件	(介護給付)
		409 件	(予防給付)
令和 3 年度	給付管理票提出数	1,519 件	(介護給付)
		399 件	(予防給付)

令和4年度 ケアプランセンターねむの丘 要介護度別担当者数

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	49	52	53	52	49	51	50	51	56	58	58	55	634	53	42%
要介護2	33	33	34	32	29	28	30	29	30	28	28	27	361	30	24%
要介護3	26	28	27	23	24	26	23	20	20	17	15	15	264	22	17%
要介護4	18	19	16	17	14	15	16	14	14	17	18	17	195	16	13%
要介護5	5	4	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	65	5	4%
要介護累計	131	136	136	130	122	126	124	119	125	125	125	120	1,519	127	
要支援1	10	10	9	9	8	11	13	13	13	15	15	16	142	12	36%
要支援2	17	16	18	18	20	19	22	23	22	23	23	24	245	20	61%
総合事業対象者	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	12	1	3%
要支援及び総合事業対象者累計	27	26	27	27	28	31	36	37	37	40	40	43	399	33	
令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	52	53	55	60	59	59	60	63	70	64	67	66	728	61	47%
要介護2	30	31	30	28	31	30	33	36	32	30	31	34	376	31	24%
要介護3	18	17	17	18	15	14	13	13	12	11	11	12	171	29	11%
要介護4	18	19	15	15	17	17	18	15	16	16	13	14	193	16	13%
要介護5	6	5	5	3	5	6	8	7	7	6	7	7	72	6	5%
要介護累計	124	125	122	124	127	126	132	134	137	127	129	133	1,540	128	
要支援1	14	14	14	14	14	12	13	13	13	12	13	12	158	13	39%
要支援2	21	21	22	21	20	22	20	21	20	16	18	19	241	20	59%
総合事業対象者	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	2%
要支援及び総合事業対象者累計	38	38	38	37	34	34	33	34	33	28	31	31	409	34	

令和4年度 ケアプランセンターねむの丘 要介護度別担当者数

令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	49	52	53	52	49	51	50	51	56	58	58	55	634	53	42%
要介護2	33	33	34	32	29	28	30	29	30	28	28	27	361	30	24%
要介護3	26	28	27	23	24	26	23	20	20	17	15	15	264	22	17%
要介護4	18	19	16	17	14	15	16	14	14	17	18	17	195	16	13%
要介護5	5	4	6	6	6	6	5	5	5	5	6	6	65	5	4%
要介護累計	131	136	136	130	122	126	124	119	125	125	125	120	1,519	127	
要支援1	10	10	9	9	8	11	13	13	13	15	15	16	142	12	36%
要支援2	17	16	18	18	20	19	22	23	22	23	23	24	245	20	61%
総合事業対象者	0	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3	12	1	3%
要支援及び総合事業対象者累計	27	26	27	27	28	31	36	37	37	40	40	43	399	33	
令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	平均	比率
要介護1	52	53	55	60	59	59	60	63	70	64	67	66	728	61	47%
要介護2	30	31	30	28	31	30	33	36	32	30	31	34	376	31	24%
要介護3	18	17	17	18	15	14	13	13	12	11	11	12	171	29	11%
要介護4	18	19	15	15	17	17	18	15	16	16	13	14	193	16	13%
要介護5	6	5	5	3	5	6	8	7	7	6	7	7	72	6	5%
要介護累計	124	125	122	124	127	126	132	134	137	127	129	133	1,540	128	
要支援1	14	14	14	14	14	12	13	13	13	12	13	12	158	13	39%
要支援2	21	21	22	21	20	22	20	21	20	16	18	19	241	20	59%
総合事業対象者	3	3	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1	2%
要支援及び総合事業対象者累計	38	38	38	37	34	34	33	34	33	28	31	31	409	34	

(4) ヘルパーステーションねむの丘

<目標>

安心して自分らしく生活が継続できるよう、自立支援と生活の質の向上を念頭に情報共有し支援をする。

<結果>

- サービス方針とご利用者の意向にズレが生じないように、1人ひとりの心に寄り添い環境を整えることができた。
- 研修や会議を定期的に行うことにより、ご利用者に対する共通の理解・支援の統一性や連続性また情報共有し支援を行う事ができた。

令和3年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	4	4	5	5	5	6	6	6	6	7	6	6	66
要支援2	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2	2	29
要介護1	8	7	6	5	4	3	3	3	3	4	3	4	53
要介護2	1	1	1	1	0	1	1	1	1	2	2	2	14
要介護3	7	7	7	7	7	6	6	5	4	4	3	3	66
要介護4	1	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	14
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計(人)	24	24	24	22	20	19	19	18	17	20	17	18	242

令和4年度要介護度別利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
要支援1	6	6	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0	20
要支援2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
要介護1	2	4	4	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12
要介護2	2	2	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7
要介護3	3	3	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	11
要介護4	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総合計(人)	16	18	17	10	0	0	0	0	0	0	0	0	61

介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
令和3年度	66	29	53	14	66	14	0	242
令和4年度	20	7	12	7	11	4	0	61
比較増減	-46	-22	-41	-7	-55	-10	0	-181

訪問介護事業所 型別年間サービス提供数

訪問 介護	令和3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率	
	件数	17名	17名	16名	14名	13名	11名	11名	10名	9名	11名	9名	10名	148名		
	回数	229	200	209	219	191	154	146	137	133	123	116	144	2,001		
	(身体型)	114	111	123	128	116	95	82	79	78	73	60	83	1,142	57%	
	(身体生活)	67	55	53	50	42	36	39	36	31	36	32	34	511	26%	
	(生活援助)	48	34	33	41	33	23	25	22	24	14	24	27	348	17%	
	令和4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	比率	
	件数	8名	10名	10名	6名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	0名	34名	
	回数	128	139	137	89	0	0	0	0	0	0	0	0	0	493	
	(身体型)	79	80	76	54	0	0	0	0	0	0	0	0	289	58%	
(身体生活)	29	37	30	30	0	0	0	0	0	0	0	0	126	26%		
(生活援助)	20	22	31	5	0	0	0	0	0	0	0	0	78	16%		

(5) 渋川市北橋地域包括支援センター

<目標>

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、高齢者本人や家族、地域住民などから受けた相談を把握し、関係機関と連携して解決に努め、地域の高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点としての機能強化を目指します。

<結果>

(1) 総合支援事業

総合相談の6割が介護に関する事で、介護認定の申請から関わるケースが多くみられた。また、実態把握訪問を通じて高齢者の困りごとに対して、タクシー券の代行申請、デマンドバスの情報提供や配食サービス等を紹介し、自立支援に向けた情報を提供することができた。

(2) 権利擁護事業

消費者被害、虐待事例があり警察や消費生活センターと連携することがあった。高齢者の方が安心して生活できるよう、様々な権利を守り、成年後見制度の活用、虐待被害の対応、防止、早期発見に努めることができた。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント事業

病院からの情報提供から介護保険申請、住宅改修、日常生活自立支援事業の説明をすることがあった。関係機関と連携を図ることで圏域内の高齢者の課題解決や調整を包括的、継続的に行うことができた。

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

利用者本人からサービス利用の相談があり、自己選択、自己決定を促し、適切なマネジメント業務を行い、身体状況の悪化を防ぎ、自立した生活が継続できるように介護予防を目的とした支援を行うことができた。

令和4年度 渋川市北橘地域包括支援センター事業実施報告書

区分		当年度累計
開所日数		259日
基本情報作成数		20
相談実績		2,934
相談方法	電話（延べ）	1,695
	来所（延べ）	171
	訪問（延べ）	980
	その他（延べ）	88
相談内容が主に認知症に係る件数 （延べ）	65歳以上	25
	65歳未満	1
実態把握（一人暮らし高齢者）		154
権利擁護に関する相談件数		100
相談方法	成年後見（延べ）	0
	措置の支援（延べ）	0
	地域福祉権利擁護（延べ）	0
	高齢者虐待（延べ）	100
	消費者被害（延べ）	0
ケアマネジメント支援（プランチェック含）		140
介護予防支援	委託	351
	包括	97
介護予防ケアマネジメント	委託	276
	包括	53
国保連請求数		777
国保連請求数（返戻・修正・過誤）		1
基本チェックリスト（総合事業）		1
管理者会議（全体会議）		12
社会福祉士定例会		10
保健師定例会		3
主任ケアマネ定例会		12
民生委員連絡会議		11
生活支援体制整備事業（協議体）		10
家族介護教室・介護予防教室（主催）		1
各地域サロン・高齢福祉課各教室		4
地域ケア会議（個別）・コア会議		7
困難事例勉強会		3
CM研修会		4
外部研修会		3
認知症施策（見守りあんしん・学びの講座）		4